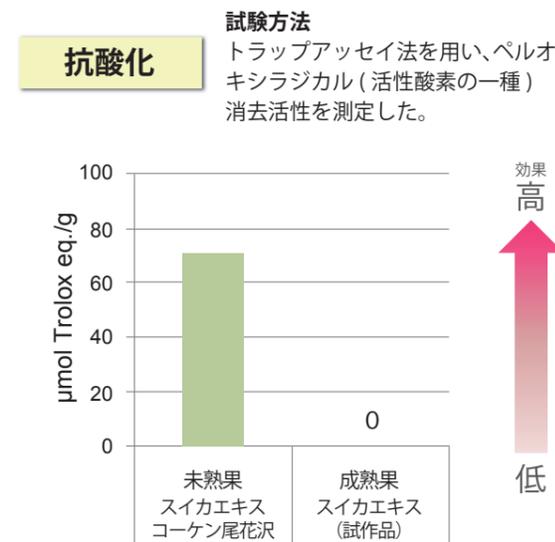
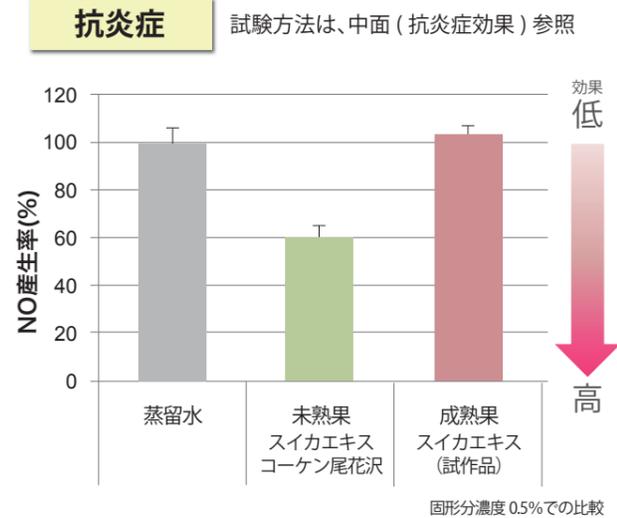
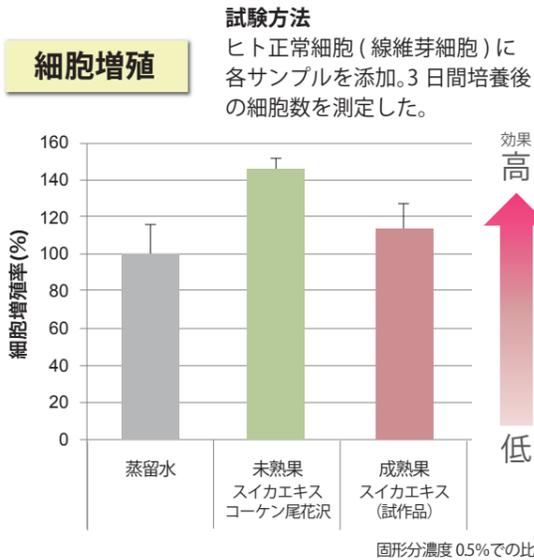


スイカエキスコーケン尾花沢

摘果果実(未熟果)と成熟果果実の違い



スイカエキスコーケン尾花沢は、摘果したスイカ(未熟果)より抽出したエキスです。未熟果と成熟果では、エキスの効果に差が見られました。



スイカエキスコーケン尾花沢は、シトルリン・GABA グルタミン酸等のアミノ酸やピーリング効果のあるリンゴ酸・シキミ酸を含有しています。

社内資料による

安全性評価

ヒト皮膚累積刺激性試験(HRIPT): 陰性

製品番号	製品名	表示名称	INCI名/中文名称	他成分	包装
WME-131	スイカエキスコーケン尾花沢 BG	スイカ果実エキス	CITRULLUS LANATUS (WATERMELON) FRUIT EXTRACT 西瓜(CITRULLUS LANATUS)果提取物	水, BG	1kg

原産国: 日本 原産地: 山形県



本資料の記載内容は、現時点で入手できた資料及び実験データに基づいて作成しておりますが、記載内容はいかなる保証をなすものではありません。本資料に記載された内容は、都合により変更させて頂く場合がございますので予めご了承下さい。掲載データ及び関連書類に関する著作権、意匠権を含む一切の知的財産権は株式会社高研に帰属し、許可なく複製・転載・引用することは一切禁じます。尚、これら材料の安全な使用にあたっては、当該製品のMSDSを事前にご参照ください。また、当該製品を配合した消費者向け製品への表現については、医薬品医療機器等法の関連法規に従うようご注意ください。

koken-cosme.com

© 2015-2020 KOKEN CO., LTD. C-1-3002-02-02

お問い合わせ先 株式会社 高研 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 TEL 03-3868-0560 FAX 03-3816-3570

KOKEN

化粧品製造専用原料

植物性化粧品原料

スイカエキスコーケン尾花沢

CITRULLUS LANATUS (WATERMELON) FRUIT EXTRACT

スイカ果実エキス

山形県産摘果スイカより抽出した化粧品原料



尾花沢とは?



- 山形県北東部に位置する都市。
- 昼夜の寒暖の差が大きい盆地気候を生かし、夏スイカの生産量は、日本一を誇ります。(出典: 山形県尾花沢市HP 2019年4月時点)

用途: 化粧水、美容液、クリーム、etc.

特長

- ナチュラル成分**
 - 国産スイカ(山形県産)から抽出したエキスです
 - 自然派処方に適しています
- 環境配慮**
 - 栽培時に間引きされた、未熟果を使用しています
 - 廃棄される素材を再利用したエコロジーな原料です
- 細胞増殖効果**
 - ヒト正常細胞を増殖させる効果を持ち、肌のターンオーバーを促す効果が期待できます
- アンチエイジング効果(抗糖化、抗酸化)**
 - 肌のくすみの原因となる終末糖化産物(AGEs)の産生を抑制し、抗糖化性を示します
 - 抗酸化効果を有します
- 肌質改善効果**
 - 肌の滑らかさの改善が期待できます
 - 天然保湿因子(NMF)を増やし、肌に潤いを与えます
 - 炎症を抑える効果により、肌の赤みを抑えます

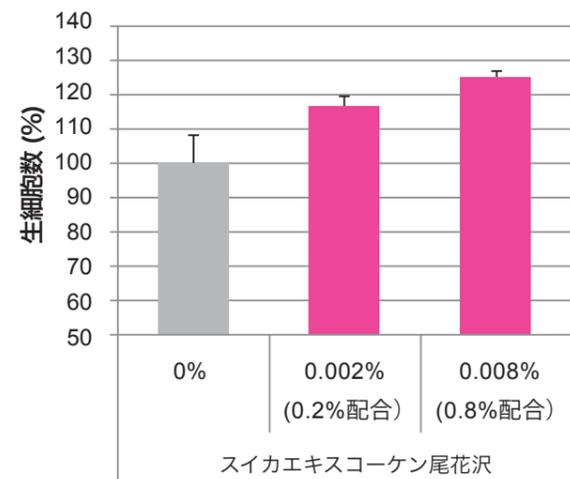
スイカエキスコークン尾花沢

細胞増殖効果

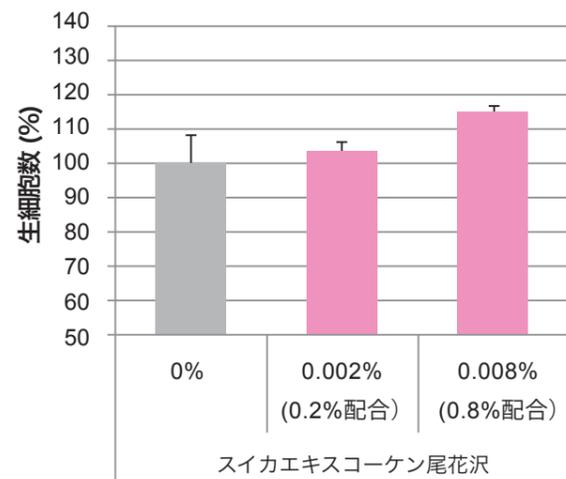
試験方法

ヒト正常細胞（表皮角化細胞、皮膚線維芽細胞）に各サンプルを添加。4日間培養後、細胞数を測定した。

表皮角化細胞



皮膚線維芽細胞



スイカエキスコークン尾花沢を添加することで、細胞増殖効果が見られました。スイカエキスコークン尾花沢には、肌のターンオーバーを促す効果が期待できます。

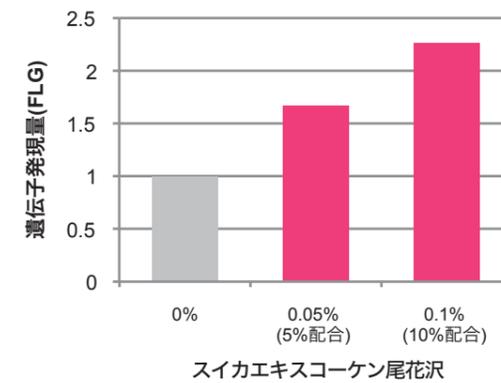
社内資料による

肌質改善効果

試験方法

スイカエキスコークン尾花沢を添加し培養したヒト線維芽細胞を DNA マイクロアレイにより分析し、遺伝子発現量を解析した。

天然保湿因子 (NMF) 関連



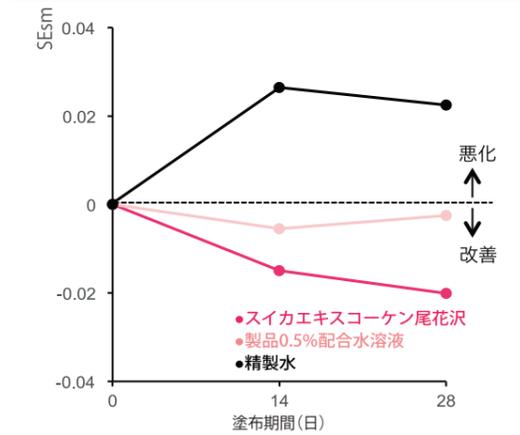
スイカエキスコークン尾花沢を添加することで、肌に潤いを与える NMF 関連の遺伝子発現量が増加しました。

社内資料による

試験方法

前腕内側にサンプルを 1 日 1 回塗布し、皮膚状態をビジオスキャン VC98 で観察し、専用解析ソフトにより皮膚状態を数値化した。

肌のなめらかさ



スイカエキスコークン尾花沢には、肌のなめらかさを改善する効果が見られました。

社内資料による

抗糖化効果

糖化

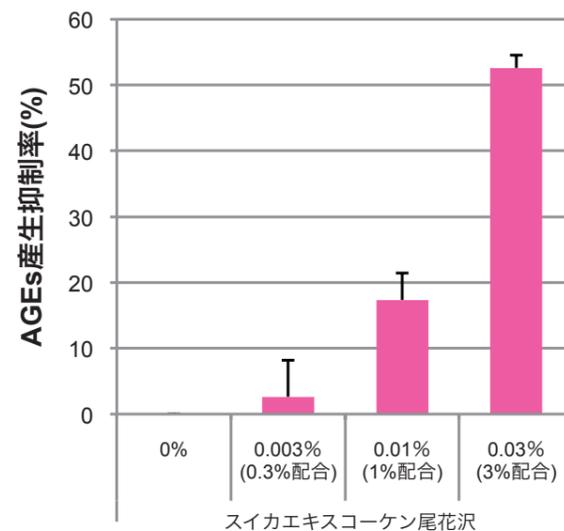
アミノ酸やタンパク質が糖と反応し、褐色の終末糖化産物 (AGEs) を生成する反応 (メイラード反応)。

皮膚組織への影響

- ・肌の弾力性が低下する。
- ・肌の黄ぐすみの原因となる。
- ・肌の明るさが低下する。

試験方法

ブドウ糖とウシ血清アルブミンを溶解した液にサンプルを添加し、60°Cで48時間保温した。その後、水で10倍に希釈し、蛍光強度 (Ex:370nm, Em:440nm) を測定した。



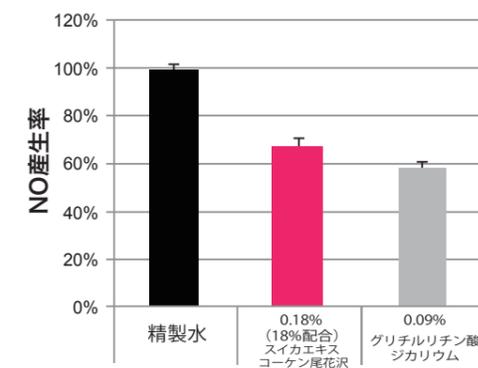
スイカエキスコークン尾花沢は、濃度依存的な抗糖化効果を示しました。

社内資料による

抗炎症効果

試験方法

免疫細胞 (RAW264.7、マクロファージ由来) をリポ多糖にて刺激し、免疫反応 (NO 産生) を引き起こした。そこへ各濃度に希釈したサンプルを添加し、一晚培養後、NO 産生量を測定した。



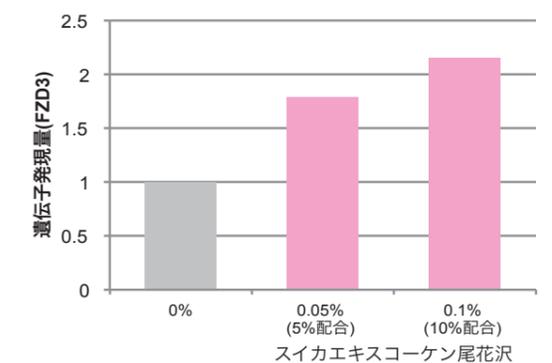
スイカエキスコークン尾花沢は NO 産生阻害を示し、抗炎症効果を有することが分かりました。

社内資料による

毛髪関連

試験方法

スイカエキスコークン尾花沢を添加し培養した線維芽細胞を DNA マイクロアレイにより分析し、遺伝子発現量を解析した。



スイカエキスコークン尾花沢を添加することで、毛包発生関連の遺伝子発現量が増加しました。

社内資料による